

### ①学習の計画を立て、単元の見通しをもつ

- 本単元で身に付けたい力に即した学習課題を提示する。
- 物語を音読する。(範読)
- 初読の感想・疑問を交流する。
- 初読の感想・疑問をもとに、学習の計画を立てる。

### ②物語を3つの段階に分けて読む

～第1段階の読み～『全体をつかむ』

- 観点を明確にして、読むうえで共通事項をつくる。
- 大きく3つの部分に分けて、全体の構成を把握する。
- 中心人物の変容過程の概要を把握する。

※3つの部分とは！

- 「始め」…中心人物と対人物が出会う前の部分、状況説明の部分
- 「中」…中心人物と対人物が出会い、様々なつながりをもつ部分
- 「終わり」…中心人物がどのように変容したか、決着がついた部分

～第2段階の読み～『細部を読んでいく』

- 物語の因果関係を読む。
  - ・「逆思考の読み(右図)」を用いる。
  - ・「アニメーション的な活動」を用いる。
  - ・内容や登場人物同士の関係の図から、変容過程を読む。
  - ・一文で書くことで、変容過程を読む。

～第3段階の読み～『全体へ戻る』

- 中心人物の変容を読む。
  - ・「逆思考の読み」から、もう一度変容に迫る。
  - ・内容や登場人物同士の関係の図から、再度変容過程を読む。
  - ・再度一文で書くことで、変容過程を読む。

### ③学習した観点を活用して表現する

- 学習した視点を活用して、まとめる。
  - ・リーフレット、ポスター、紙しばいなどにまとめる。
- 友達と交流したり、発表したりして深める。

新学習指導要領では、言語活動が重視されています。思考の伴った言語活動は、「論理的思考力」と「読解力・表現力」によって支えられています。

「論理的思考力」…用語の習得と活用、方法の習得と活用、原理・原則の習得と活用

「読解・表現力」…読み取った内容を再構成する力の育成、自分の考えを構成する力の育成  
これらの力を高め、新学習指導要領であげられる言語活動の充実に向けての手立てを紹介します。

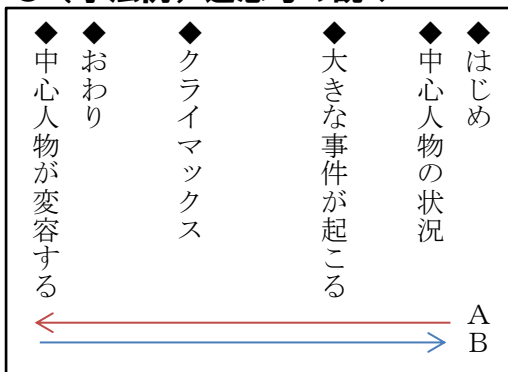
### ☆物語を読み深めるため、思考するための国語の授業にするための手立て

#### ○「物語の観点(例)」

物語を読むときに、児童をとらえさせる観点例。

- |  |                        |
|--|------------------------|
| ①設定(時・場所・季節・時代等)                       | ②人物(登場人物・中心人物・対人物・語り手) |
| ③出来事・事件                                | ④中心人物の変容               |
| ⑤三部構成(はじめ・中・終わり)                       | ⑥因果関係                  |
| ⑦お話の図・人物関係図                            | ⑧くりかえし(言葉・場面・出来事)      |
| ⑨一文で書く((中心人物)が(事件・出来事)によって(どのように変わる)話) | ⑩おもしろさ                 |

#### ○(手法例)逆思考の読み



逆思考の読みとは、物語の「終わりの柱(中心人物が変容した結果)」を出発点として、「なぜそうなったのか」を自問自答しながら、物語の「初めの柱(中心人物が変容する前の気持ちや様子)」にいきつくまで因果関係を読み解いていく解き方です。Aの読みの流れ(内容を確認する読み)は、Bの読みの流れ(因果関係を読む)の土台となっています。因果関係をさかのぼる逆思考の読みで物語を見ていくと、伏線のある存在を見つけやすくなり、物語の全体構造をつかむことが容易になります。

#### ○アニメーション的な活動

しかけをつくることで、物語の内容や論理的な読み方を有効に理解できます。(文や語句、挿絵など)

- |         |          |        |       |       |
|---------|----------|--------|-------|-------|
| ①順序を変える | ②選択肢をつくる | ③置き換える | ④隠す   | ⑤加える  |
| ⑥限定する   | ⑦分類する    | ⑧図解する  | ⑨配置する | ⑩仮定する |

#### ○対話、交流を行うために必要な視点(話型)の提示(例)

- |                                      |                      |
|--------------------------------------|----------------------|
| ①比較・関連付ける「〇さんの考えと似ていて(違っていて)、つけたしで…」 | ③言い換える「つまり…ということだ」   |
| ②仮説を立てる「もし…なら…だろう」                   | ⑤程度を考える「どのぐらい…だろうか」  |
| ④焦点化する「その中でも特に…」                     | ⑦意味をたずねる「それはどういう意味？」 |
| ⑥具体例をたずねる「たとえば、どういうこと？」              | ⑨理由をたずねる「なぜ、そう思うの？」  |
| ⑧根拠をたずねる「どこからそう考えたの？」                | ⑩分類する「AとBは同じグループだね」  |
| ⑩まとめる「これまでに考えたことをまとめると…」             |                      |